



発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもってみ前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

エコノミー(経済)の語源であるギリシャ語オイコノミアは、「オイコス(家)」と「ノモス(秩序・管理)」という言葉が合わさってできたものだという。今回の聖書箇所他にも、様々な箇所(例えばマタイ24:45、ルカ12:12、ロマ16:27、1コリント4:12など)使われている「管理者」という言葉は、このオイコノミアから派生した言葉だ。「あなたがたは、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を生かして互いに支えなさい。」(1ペトロ4:10)との言葉通り、本来の経済とは、神から与えられたものを、互いに仕え合うために義しく用い、善き管理を行うことなのだ。「経済」という漢字も元々は「経世済民(世を經(おさ)め、民を済(すく)ふ)」という中国の古典に依拠するのだという。ところが、今や、この経済が、互いに仕え、民をすくうよりも、巷間言われる様に「今だけ、金だけ、自分だけ」という強欲に極端に傾いていると感ぜないだろうか。特に、今起こっている「新型コロナウイルス」の感染拡大の中で、人命と経済が天秤にかけられている様な状態に、得体の知れぬ恐ろしさを感じている。

瞑想

今までの考え方ややり方では、もはや通用しない時代を、想定外の出来事が次々と襲ってくるこの世界を生きている者として、「万物の終わりが迫っています」(1ペトロ4:7)と終末の緊迫感を持って書かれたこのペトロの手紙から、学ぶことは多いと思う。ペトロの語る善き管理者としての生き方こそ、この混乱の時代を生きる、キリスト者の姿であると信じてい

あなたがたは、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに支えなさい。

主幹牧師 榎本 恵

1ペトロ4:10

さて、ペトロの名を持って書かれたこの書は、当時迫害の只中にあつたアジア州の異邦人教会へ宛てて書かれた手紙と言われている。キリスト者の共同体は、社会の中で排除され、誹謗中傷を受け、大きな迫害が迫って来ていた。彼らはその中で、「今しばらくの間、いろいろな試練に悩まねばならないかもしれませんが、その試練によって本物

その新しい生き方こそが、「思慮深くふるまい、身を慎んで、よく祈り」、「何よりもまず、心を込めて愛しあう。」(1ペトロ4:7-8)ことであり、「神から授かったそれぞれの賜物を生かして互いに仕え合う」(1ペトロ4:10)、すなわち恵みの善き管理者となることなのである。

教会とは、その善き管理者の集まりであり、洗礼とは、その管理者としての新

しい生き方の自覚への決意を促す時なのである。そういう意味において、今日、私たち教会やキリスト者たちに与えられた役割は大きい。

かつて、この近江八幡の地を拠点として、建築家として、実業家として、また教育者として、「神の国」の実現の宣教活動に身を捧げたW・M・ヴォーリスは、その善き管理者を「神の番頭」と呼び、同労者として加わった者たちへ次のように書いてある。

「神の番頭であること、これこそ、私たちがどんな財産よりも持つべきクリスチャン的な態度だと思えます。(中略) 番頭主義とは、自分の持ち物はすべて、金も土地も設備も工場も、つまりあらゆる物質、いやそればかりでなく自分の身体も教育も時間も能力も、一切合切神のものである、ということ。自分はその番頭として預かっているのだ。神の国のために管理しなければならぬ。自分の利益のために蓄えたり使ったりしてはならない、という意味です。」(「神の国の種を蒔こう」より)

友よ、私たちもまた互いに祈りあい、愛しあう善き管理者、神の番頭となろうよ。

アシユラムと私 ②

三好 萬亀

一方、私は先ず、タイプスト学校と交渉しなくてはと祈って出か

けました。『年齢に制限がない』と言われたら、これが見どころと

信じ、玄関を開けました。「検定ですか。」と

言う声に、「いいえ。」と答えると、奥から出て来られました。「タイプを習いたいのです

が、年齢に制限はありませんか。」と問いました。「それはありません。月曜から金曜ま

で、朝九時から正午まで、半年間の学びで、月謝は・・・。」「来月から、よろしく願います。」とお約束が

できました。初めて見るタイプライター、文字盤はイロハ順。文字を探しながら打って行

く。途中で機械が動かなくなったりしながら、学び通しました。

タイプライターは、主人が用意してくれました。イロハ順で学びましたが、アカサタナのアイウエオ順が早く文字を拾えるとアイウエオ順にしました。初めは慣れないので、苦労しました。小宮山先生より、1968年4月からタイプ印刷に変え



ひ孫を抱く三好姉(100歳)。笑顔が幼な子のよう!

ると言われました。その時に頂いたみことばは、「主は大いなる賛美されるべき方。その偉大さは測り知ることできません。」(詩篇第14

5・3)。未熟な私もみことばにお頼りしながら、18年間タイプの

ご奉仕を続けさせて下さいました。現在は教会の一日一章のみことばを読み、それをノートにしたため、教会

からの祷告事項に合わせ祈りの奉仕。2017年1月17日の礼拝後、政所先生より香壇

ノートを手渡されて、1週間の祈りを記録して、次の方へと手渡しての祈りの奉仕。

年老いても、なお、ご用に用いて下さる主。アシユラムによって主に聴くことを教え

られ、先立ち、しんがりになって導き給う主に、感謝の日々です。終わりに、アシユラム委員のメンバーが、祈り続けて来て下さったこと(日本アライアンス呉教会)

高俊明牧師、伍秀英長老追悼礼拝に参加して

橋本 るつ子

2月19日、まだ日本では新型コロナウイルスの恐怖はそれほどなかった時、台湾では入

国時、ホテル、レストラン、教会・・・あらゆる場所で検温、マスク着用義務、消毒が厳重に行われていま

した。そんな厳重体制の中、台南市北門基督長老教会で高俊明牧師、伍秀英長老追悼礼拝が

暖かい雰囲気の内に行われました。このお二人は、台湾愛修会、日本のアシユラムセン

ターにとって本当に深い祈り手、支え手としてご奉仕下さった方々です。高先生は台湾長老教会総会議長など

数々の重責を担われただけでなく、キリスト者として台湾の人権と独立のために4年3ヶ月と21日間、台湾の軍事刑務所に監禁され、入獄中の時間を利用して個人伝道と聖書の研究をされました。その後台湾、全世界の救いのために尊い働きをされ2019年2月14日に天に帰られました。また伍秀英長老は台湾基督教愛修会の中

ご献金者 敬称略 1月分 康子歌子 2口 米田 米田

2月分 萬里子 俊夫 良和 千歳 千京 孝子 昭子 正岡 久山 久品 久智 子タ 木喜美 阪神 ミニアシユラム 岩崎 浩二 福岡

聖書教室 無名氏 友里恵 池田 (チャイム コンソート) 沖田 朝子 常任運営委員会 吉川多起子 宗教法人

鹿見鳥 教会 浩人 智恵 静子 宜和 知子 康子 歌子 信司 神書 教室 萌寿 治朗 氏氏氏 無名氏 無名氏 無名氏

キリスト 岩本 加藤 湯野 横山 東 東 明石 米田 米田 小川 市川 静岡 安池 池谷 池谷 無名氏 無名氏 無名氏

教師記念 チャペル 野波 志都子 野波 明子 東京 聖書 教室

心会長として故榎本保郎牧師、故小宮山林也牧師を助け、日本と台湾のアッシュラムを通しての架け橋となつて下さいました。深き祈り、お支えにどれほど助けられたことでしょうか。伍秀英長老は2019年9月2日に天に帰られました。

追悼礼拝では、アッシュラムセンター主幹牧師の榎本恵牧師より、お二人とアッシュラムの関わりが語られ、これからもこのお二人の信仰、祈りを受け継ぎ、台湾と日本の国際正義・平和アッシュラムが意義深いものとなるよう話され、また、高牧師の夫人である高麗珍牧師がビデオを通して思い出を語り、先生の信仰が聖書に聴き祈ることによって深められていたことを、伍秀英長老のご長男であり台南新楼病院院長の黄祖



2月、王牧師ご夫妻を迎えられたセンター一行。台湾の皆様が手厚くおもてなし下さった。

源医師が母上の信仰を語って下さいました。最後に、今回の音楽の使者であるキャロル・サックさんの心に深く響くハープを聴きながら、天国にて笑顔で語り合っておられる天上の友たちを思い浮かべ、この国際正義・平和アッシュラムが多く信仰の先輩たちの祈りによって続けられてきたこと、私たちもまたその信仰に倣い、受け継いでいく者でありたいと強く思わされました。最後に当日読ま

証し ④

石田 哲夫

4. 問題の所在

うつ病は「心のかぜ」と言われています。朝なかなか起きられず、日中うつうつとした気分も夕方にはほぐれ、気分が晴れてくるという生活パターンの(日内変動)を繰り返し、精神疾患一般に言えることですが睡眠障害を特徴としています。

睡眠は基本的な生活習慣として必須要件であり、このため睡眠対策が研究されています。日頃患者さんの睡眠中の姿を観察して想うことは、「人は睡眠がとれば良いというものではなさそうです。」この夕方から晴れてくる気分と、朝方のうつうつ気分を遮るものとしての睡眠のとり方に、この病の要因があるのではないかと気付かされました。

わたしたちの身体は、普段ある一定のバランスのもとに心身の健康を保持しているのですが、抑うつ感情の出現の要因は、クライシスとして①心のストレス ②身体の疲労 ③急激な環境の変化 ④は①②③が短時間に同時に出現する結果で、生体バランスの崩れが睡眠障害などの身体バランスの変調としてまず出現するものようです。

夜間の睡眠リズムは、普段私たちが起きている状態とは余程違う様相を呈します。睡眠中は生体バランスを培う呼吸、脈拍、血圧、体温には十分な配慮と保護が必要であり、人は眠れさえすれば良いというものではないことが分かります。周囲を取り巻く環境によっては危険な状態を提供するものであり、『風邪』であっても、かりそめのうたた寝が思わぬ「かぜ」をこじらすことも聞くところです。

人の身体は驚異の小宇宙と言われています。わたしたちは外界を取り巻く環境の中で、絶妙なバランスの上で地球上に生きる者として立つことが許されている存在でもあります。

わたしは過日、聖書講習会で「ヨブ記に学ぶ」を通して、創造者神と被造物人間との正しい関係に立ち帰ることを、義人ヨブの苦難から学ぶこととなりました。物語はヨブが不条理なサタン(悪魔)の仕打ちにあり、苦難のどん底に在って、友人からの弁論は苦難の秘密を掘り起し、ヨブの中にこそ問題の所在ありとする弁論の応酬でした。

ヨブ自らも義を神に主張して止まないものとして行き詰まってしまう場面を通して、神から与えられたメッセージは、本当の問題の所在はヨブの中に在るのではなく、目を外に向けよと、「宇宙の仕組み、自然界の不思議として創造とその摂理」に言及するものでした。

ヨブ記のテーマ「義とは何か?」の解答は、創造者神と被造物人との正しい関係(均衡)に立ち返ることを、ヨブの苦難を通して学ぶこととなりました。

(主なる神は、義人ヨブの苦難の問答には直接何もお答えになっていないことに物足りなさ、不満を憶えたものでした。しかし、ここで気付かねばならなかったものでした。)

(無教会 金沢畝田聖書集会) (続)



常任運営委員会。礼拝恵みの分かち合い。石田兄は6年金沢から通って下さった。

れました聖句を。「人よ、何が善であり、主が何を前にお前に求めておられるかはお前に告げられてい。正義を行、慈しみを愛しへりくだって神と共に歩むこと、これである。正る。」ミカ書6章8節

山崎 義人
鹿屋 キリスト教会
森山 直子
唐渡 隆子
河村 琢郎
榎本 恵子
榎本 康子
榎本 光太
カフェいろいろば
聖書入門講座
(灰の水曜日
記念会)
大山 悠子
当山 八重子
塚 大浜
キリスト教会
山岡 義明
吉田すみね
センター
聖書教室
広野祈りの家
猪瀬 和子
藤田 久美
63口
¥761,550

ヨセブ基金
(義援金)
米田 敬子
(1,2月分)
吉田すみね
いろいろば
アッシュラム君
4口
¥25,000

会堂改築の
ために
鎌田 速明

台湾アッシュラム
のために
池谷 治朗

受難節を
憶えて
榎本 和子

合計
70口
¥839,550

大変な
状況の中、
尊いご献金、
ご献品、お祈り、
お便り、電話
メッセージ、
そして、共に
アッシュラム!
感謝いたします

皆様へ
お祈り、
お便り、
お待ちしております。

新型コロナウイルス感染拡大に伴うアシュラムセンターの集会について

あなたがたに言うことは、すべての人に言うのだ。目を覚ましていなさい。

マルコ 13 : 37

主の平和

季節は美しい春を迎えています、それとは裏腹に、世界は新型コロナウイルスの感染拡大により、なんとも言えぬ重い空気に押しつぶされそうになってしまいます。私たちの国も、全ての都道府県に「緊急事態宣言」が出されました。そのようななかで、アシュラムセンターの聖書教室、主宰アシュラムは休止を余儀なくされております。また、全国の地域アシュラムの皆様においても、予定していたアシュラム集会を中止、延期せざる得ないところも出て来ております。それぞれが皆、悩み抜き、祈り主に問うていく中での苦渋の決断であろうと思います。

何不自由なく集まり、また祈り合い、分かち合うことが、このような形でできなくなるとは思いませんでした。私たちアシュラムの友の中にも、この感染症にかかり、苦難の中におられる方やご家族やご友人がおられるかもしれません。何よりも、医療現場で、今まさに苦闘しておられる医師や看護師の皆さんもおられることでしょう。そのような時に、祈りなどなんの役に立とうか、という声のあることも事実です。しかし、こんな時であるからこそ、主のみ声に聴き、祈りたいと願う方々の思いに、答えていく、それが私たちアシュラムセンターの使命であると思っております。

そこで、会自体は中止いたしますが、インターネットを通じて、今までと同じように、同じ時間に各地の聖書教室を行なっていきたくて、考えております。また、月一度の「ちいろば牧師記念チャペルタ礼拝」は、ユーチューブ「ちいろばチャンネル」で、ライブ配信を行います。画面を通してですが、皆さんと一緒にこれからもみ言葉に聴き、分かち合う時を続けたいのです。

詳しくは、アシュラムセンターのホームページをご覧ください。www.ashramcenter.jpです。「アシュラムセンター」で検索をかけてくださっても大丈夫です。

私たちは、目に見えぬ敵に怯えるのではなく、目には見えない神を畏れ、この困難の時代を生きていきましょう。また再び顔と顔を合わせる日を望みつつ、祈っております。

アシュラムセンター主幹牧師 榎本恵

今回の問題の収束を見るまで、しばらくセンター主催の集会は休止いたします。なお、今どこの教会も、また社会全体が経済的苦境の中にあります。センターも同じです。どうか祈りを合わせ、お支えくださいますように。



自宅で聖書教室。
パソコン上に映る皆様と
みことばの分かち合い。

あとがき

新型コロナウイルス感染拡大によって、多くの影響が出て来ている。教会も3密を避けるために、礼拝を休止しているところも出ている。アシュラム集会も、案内のように、中止また延期を余儀なくされ、準備を進めておられた地域の方々にとっては、苦渋の決断をされたことだろう。センターでも、4、5月の聖書教室、ミニアシュラムを全て休止せざるを得なくなっている。しかし、そこで、コロナに負けるわけにはいかない。これを機会に、インターネットの技術を持って続けていきたいと思っている。Zoomという会議ソフトを使い、静聴と恵みのわかちあいを行っている。どうか、多くの皆様のご参加をお待ちしている。詳しくは、アシュラムセンターのホームページをご覧ください。

見えない敵に怯えるのではなく、見えない神を畏れるものとなりたい。

(恵)

主幹牧師の2019年度の振り返りと2020年ビジョン(2)

今年の2月台湾で開催される国際正義平和アシュラム(※アシュラムは中止)では、台湾愛修会をその始まりの時から支え、導いてくださり、相次いで天に帰られた高俊明牧師と伍秀英長老のお二人を偲ぶ会が催される。伍長老もまた、私たちの古くからの大切なアシュラムの友として、日本、台湾、またハワイ、米本土に至るアシュラム運動の推進者のお一人であった。

彼女もまた、このアシュラムの恵みを次のように書いておられる。

「今まで同じように読んできたみ言葉が、自分にとって主の直接の語り掛けとして親しく受けとめられて主との出会いを体験し、み言葉が自分の信仰生活に主のご臨在を覚えさせ、力強く信仰に生きる心の頼りとなり、生かされている日々の喜びと平安、そして自分の弱き罪深さを悟らしめてくださり、弱い私を助けて共に祈る友を与えられた素晴らしさ、み言葉に生きる時の主のみ業の証しなど、アシュラムの恵みは尽きません。」(伍秀英『「主の用なり」を貫徹されたちいろば先生」より)

この言葉からは、洋の東西を問わず、アシュラムの恵みに触れたものの真髓を言い表していると思っっている。台湾でも、ブラジルでも、北米でも、また東南アジアでも、アシュラム運動が受け入れられているのは、このような喜びに溢れる人々が、次々と起こされてくるからに他ならない。昨年札幌でのアシュラムには、ブ

ラジルからジュラ柳原牧師ご夫妻が参加くださった。柳原牧師は日系二世であり、同時に世界アライアンス連盟の会長という、若きキリスト教界のリーダーである。世界中のアライアンス教団に属する教会を励まし、宣教の業の最前線におられる方だ。今回も、アジア歴訪の超過密スケジュールの中、私たちのアシュラムに参加くださった。先生は、若き日、広島島の泉明憲牧師の薫陶を受け、サンパウロで続けられている「ルージラモス教会アシュラム」のリーダーでもある。私が、ブラジルのご奉仕に行く時は、先生が通訳のご奉仕を、また宿泊のお世話をいただいている。今後、アシュラム運動がますます世界へと広がりゆく中、ジュラ牧師の存在は、ますます輝いてくることだろう。

また、札幌では、日本福音ルーテル社団の「リラプレカリア」の指導者キャロルサクさんにご奉仕いただいた。キャロルさんは、ハーブの演奏を通し、癒しや最期の看取りを行う奉仕の業を行っておられる。その活動は、NHKの「心の時代」でも取り上げられ、多くの人々に感銘を与えておられる。彼女もまた、アシュラム運動を深く理解し、早天礼拝でのご奉仕をお引き受けくださった。静かなハーブの調べと祈りの言葉の反復に参加者一同霊的満たしのうちにあったことを報告したい。今回の年頭アシュラムにおいても、先生の教え子である早野潤子姉にご奉仕いただいている。これからのアシュラム運動にとってこの出会いは大変、大事な時となっていくことであろう。(続く)



サンパウロのご自宅にて。ジュラ師ご夫妻。恵師をお世話下さる。(コロナによりブラジルへのアシュラム誌届かず。祈)

4/12の夕礼拝をご覧下さった方々からの感想メール！一部ご紹介します。祈りでつながられている皆様に感謝ごめ…



吉田すみゑ (日本福音ルーテル札幌)

ちいろばチャンネル有難うございます。和子お母さん元気で、皆が嬉しく感じたいでしょう。台所にも神さまはおられます。受洗した頃よく耳にしました。今日食卓でメッセージを聞きながら、主に生かされている日々を感謝しました。

ピンチはチャンスであるならば、今イエスさまをお伝えする好機かなと感じています。ちいろばチャンネルも伝えていきます。若い人に伝わるよう祈ります。

各集会は、オンラインとなります。
詳しくは、アシュラムセンターまでお問い合わせいただくか、
ホームページをご覧ください。

5月の聖書教室など		【主な問い合わせ先】 0748-33-4030 アシュラムセンター
1(金)	阪神ミニアシュラム (オンライン PM1:00)	
11(月)	福岡聖書教室 (オンライン PM1:30)	
17(日)	ちいろば牧師記念チャペル夕礼拝 (ちいろばチャンネルライブ PM5:00)	
20(水)	カフェちいろば聖書入門講座 (オンライン PM1:30)	
21(木)	大阪聖書教室 (オンライン AM10:30)	
22(金)	センター聖書教室 (オンライン AM11:00)	
25(月)	静岡聖書教室 (オンライン AM10:00、PM1:30)	
26(火)	東京聖書教室・桜美林リトリートアシュラム (オンライン AM10:30)	
6/5(金)	阪神ミニアシュラム (オンライン PM1:00)	

5月のアシュラムなど	
第28回 盛岡・秋田アシュラム	延期
第7回 北陸・金沢アシュラム	延期又は中止
第20回 愛知一日アシュラム	中止
第45回 教職アシュラム	中止

6月のアシュラム予定		
13(土)	第2回 四国一日アシュラム 奉仕者 榎本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
18(木) 20(土)	第46回 加太アシュラム 奉仕者 榎本 恵師	0724-45-8235 西川 武兄
22(月) 26(金)	沖縄巡礼の旅 奉仕者 榎本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター

6月以降のアシュラム予定	
7月23日	福岡一日アシュラム
8月27日～29日	関東青年アシュラム
9月18日～19日	新潟アシュラム
9月21日～22日	関西アシュラム (アシュラム連盟主催)
10月7日～8日～9日	日光オリーブの里アシュラム
10月19日～21日	京浜アシュラム
11月19日～20日	阪神アシュラム

庭の花々を生け続ける和子母。
天上の友や、
アシュラムの友を想いつつ。
センターでの集会がない今、
オンライン聖書教室にデビュー!



みことば

日本基督教団 安来教会牧師
山陰アシュラム推奨者
遠藤 誠一

「祈りについて」20年ぐらい前から数年間、保田みゆき牧師から深沢教会の「バイブルアカデミー神学院」で学んだことを、記してみたいと思います。

(保田みゆき牧師は引退されました)

2、祈りについて

霊的な人は、祈りを神に届けることができます。また、自分の考えを神に届けることができます。工場の機械や家電製品は電気で動きますが、神様との関係で動くのは为什么呢、それは「祈り」という神が下さった約束です。しかし、時にはこんなに大切な祈りを忘れてしまい、心配し、苦しんで、自暴自棄になってしまうことがあります。ですから祈らないことはもったいないことです。

私たちは、人と話すとき、霊では話しません、肉体で話します。肉体の感情、知識、理性を使って話します。しかし、神との会話である祈りは、知性と霊で祈ります。また、神は私たちに聖霊を下さり、聖霊によって祈ることを願っておられます。(ユダ20) その神は、私たちの弱さをご存じです。ひとり子イエス様を私たちの罪のために十字架につけて贖ってくださいました。その結果、神と人間との隔ての壁を壊され関係を回復し、神の子とし、聖霊までくださいました。その聖霊の助けにより祈るようにしましょう。

イエス様は①「たたきなさい」②「探しなさい」③「求めなさい」と教えてくださいました。このことを考えてみましょう。造られた私たち人間があえて創造主とお会いするというのです。神はご自分を陶器師だと言われました。陶器師は陶器を作るとき、貴い器だけでなく、卑しい器も作られます。もし、気にいらぬなら壊すこともされます。それですから、聖書は自分をきよめて、尊いきよめられた器になるように勧めています。(Ⅱテモテ2:21) 自分をきよめ、神の前に祈りましょう。自分の力ではそれできません、聖霊の助けによりそれができます。神は祈ることを求めておられるので、祈りましょう。「今までは、あなたがたはわたしの名によって求めたことはなかった。求めなさい、そうすれば、あたえられるであろう。」(ヨハネ16:24)
(次号につづく)